

第3回 福島県における復興祈念公園のあり方
(基本構想への県提言)
検討有識者会議

【これまでの有識者会議等における主な意見】

平成28年2月5日

福島県土木部まちづくり推進課

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(1) 東日本大震災で犠牲となった全ての^{いのち}生命への追悼と鎮魂

○: 第1回有識者会議委員意見

●: 第2回有識者会議委員意見

◇: 住民意見

【追悼・鎮魂の対象等】

- 追悼・鎮魂の対象(直接死、関連死)をどうするのか整理する必要である。
- 追悼・鎮魂の表し方として、犠牲者名、地名等も残しておくことが必要である。
- 津波で亡くなった方々への「悲しみ」、原子力災害への「怒り」の二つが出発点。
- 復興祈念公園は、追悼と鎮魂の場という位置づけが中心となり、マクロ的な鎮魂の場であると同時に個々の方を悼むミクロ的な場である。

- ◇津波で喪った家内の遺骨と共に、現在仮設住宅で自分を喪ったような生活をしている。今回の津波では新地からいわきまで多くの犠牲者が出ているので、鎮魂の場を公園の中に作ったがいい。
- ◇津波で亡くなられた方を祀ってあげたいという思いが強いため、亡くなった方々の名前を記した記銘碑やモニュメントなどの形のあるものを造って欲しい。
- ◇震災前には今まで津波が来なかったから大丈夫だと思っていた方もいたので、避難訓練をやらなかった反省材料としても、犠牲者の名前を刻んだ慰霊碑を造ってほしい。
- ◇慰霊碑を造るのであれば、各市町村名を入れて犠牲者の名前を供えた祈念碑がいい。
- ◇震災によって多くの犠牲者が出たこともあり、モニュメントや式典会場、駐車場などがあつた方が良い。
- ◇復興祈念公園内に、亡くなった方の名前を入れた慰霊碑を建てて欲しい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(1) 東日本大震災で犠牲となった全ての^{いのち}生命への追悼と鎮魂

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

【救助活動困難状況】

- 地震翌日に避難指示が出されたため、救助活動が出来ず助けられなかった命があった。40日以上放置され、腐乱した遺体が発見された状況があった。
- 地震後、被災者の救助活動が出来ずに避難しなければならないという実態があったことを踏まえ、避難の状況や避難者の思いなども伝承する必要がある。

◇ 避難しなかった方を家族が助けに行きたいと申し出たが、放射能が高いから入れないと言われ、助けることができず、2週間位後に餓死してしまったということがあった。助けられなかった方への思いもあり、亡くなった方の魂を鎮める場が欲しい。

◇ 父の行方を捜そうと実家の方へ向かったが、途中で避難指示が出て捜索出来なかった。40日後に捜索が開始され、父は見つかった。現在、父が見つかった場所は帰還困難区域となっているので自由に花を手向けに行くことも出来ない。

【震災で命を失った動物に対する慰霊】

- 避難指示区域に残った家畜の全頭殺処分が行われ、その他多くの愛玩動物も津波等により失われたことから、亡くなった動物に対する慰霊も考える余地がある。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(2) 着実に復興を進めていくふくしまの姿を国内外へ示す

【復興の取組・過程の情報発信】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 本公園は、地域再生のまちづくりのモデルとしての意味がある。
- 復興初期段階における地域再生の「さきがけ」として公園を形成する。
- 県の復興計画の3つの理念を実現していく。
- 公園整備のプロセスが、住民の帰還に繋がるような相乗効果が期待できる取組とする。
- 復興プロセスの情報発信の場とする。
- 避難地域の住民帰還の象徴としての高いメッセージ性が求められる。
- 福島が復興する姿を情報発信する。
- 復興に向けた取組などの情報を常に更新し、世界へ発信する。
- 福島の復興は世界から注目されており、福島が復興にどう向き合っていくのかということは、世界にその姿を示していくこととなることから、個人的感情を超えたところで、黙々と復興に取り組んで頑張っている姿を示すことが一番強い説得力を持つ。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(2) 着実に復興を進めていくふくしまの姿を国内外へ示す

【復興を祈念する】

○: 第1回有識者会議委員意見

●: 第2回有識者会議委員意見

◇: 住民意見

○本公園は、「復興への強い意志」としての意味がある。

●復興祈念公園は、未だ復興していない中であるが、亡くなられた方々に復興を後押しして頂き、復興を進めるための祈念公園である。

◇公園候補地周辺が全く復興していない中で、何のための復興祈念公園なのかを考える必要がある。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(2) 着実に復興を進めていくふくしまの姿を国内外へ示す

【福島との再会】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 帰還者からの受け止められ方を含め検討する。
- 家族と話し合える場や昔の生活を伝えていける場が住民から期待されている。
- 福島から遠く離れた地で避難を余儀なくされている方々が、生まれ育った故郷の記憶を想起し、故郷に帰還した方々と心の中で繋がり、心の拠り所となる公園にする。
- 復興祈念公園は、震災により失われた生命、土地の自然、ここに暮らして散り散りになった人々、この地にあった暮らしとの「再開の場」である。
- 土地の文化や自然、震災で失った様々なもの等が、避難者の想いと共にあるという郷愁の念、未来に向けた被災者の想いが福島に繋がっていくストーリーを提示する。
- 被災した方や家族を亡くされた方々が集まり、被害の甚大さ、命の大切さ、避難のあり方など、今後の防災・減災の話が出来る場が、色々な教訓の継承に繋がる。
- 公園周辺の歴史、風土、生活の営み等について、過去、現在、未来を繋いでいくため、アーカイブや周辺の遺構と連携しながら、公園内で語り合うことが出来る場とする。
- 住民の方が復興祈念公園を訪れた時、生まれ故郷の歴史や文化を子供や孫等へ伝えられるようにする。

◇ 復興祈念公園が家族で震災の会話をする場所になれば良い。

◇ 遠くに住んでいる方が戻ってきた時に集える場が欲しい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(2) 着実に復興を進めていくふくしまの姿を国内外へ示す

○: 第1回有識者会議委員意見

●: 第2回有識者会議委員意見

◇: 住民意見

【人々の交流による福島との想いの共有】

- 住民からは「集いの場」としての役割が求められている。
- 常に誰かが集い、感謝の意が感じられるような公園とする。
- 公園から復興する姿を示していくため、住民やボランティア希望者など多様な方々の参画を誘導する。
- 公園整備に歴史、文化、自然等の風土を関連づけ、清掃、植樹、学習活動等で色々な方々の参加を得ながら情報発信する。
- 追悼・鎮魂の行為として花を手向けるように、花を通じて福島の人たちへの想いを皆で共有することなどにより、復興祈念公園に咲いた花を使って、復興祈念公園外でも福島と繋がりが出来るストーリーが生まれる。
- 花などを用いて、毎年想い起こしてくれるような、そこに行ってみようという気にさせるような仕組みをつくる。

◇公園候補地のある両竹山は古代の横穴墓や戦国時代の山城などが確認されており、地域の歴史や生活について認識を持った上で、公園のあり方を考えてほしい。

◇双葉郡が原発被災地であるということが強調されているので、双葉郡は原発被災地だけではないというアイデンティティをつくって欲しい。

◇公園に皆が何回も足を運んでもらえるように、365日お花が咲いているような公園にして欲しい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(3) ふくしまの被災を将来につなげる

【アーカイブ拠点施設と一体的（近接した）整備】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- アーカイブ拠点施設と復興祈念公園との連携により多くの来訪者が予想される。
- 広島平和祈念公園を参考に、復興祈念公園を活用した福島の情報発信をする。
- 復興祈念公園の来園者のリピーターを確保するため、科学的データを蓄え、情報発信していくためアーカイブ拠点施設等と連携させる。
- 復興祈念公園の中あるいは側に、広島の平和祈念資料館のようなアーカイブ拠点施設を造り、世界や次の世代に福島の悲惨な状況を一体で示す。
- 公園に隣接したアーカイブ拠点施設を整備し、福島県全体の被災の状況を後世に伝承する。
- 来訪者を考慮するとアーカイブ拠点施設と公園は一体となっているべきである。

【風化防止（アーカイブ拠点施設との連携）】

- 風化防止のためインパクトがあり感銘できる正確な情報発信の場とし、形骸化しないようリニューアルをしていく。
- 震災を風化させないための取組が必要。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(3) ふくしまの被災を将来につなげる

○: 第1回有識者会議委員意見

●: 第2回有識者会議委員意見

◇: 住民意見

【被災の伝承（アーカイブ拠点施設等との連携）】

- アーカイブ拠点施設を中心とした「学びの場」「復興情報発信拠点」としての役割が必要。
- 「回遊性」「学びの場」「伝承」等を考慮し、アーカイブ拠点施設と一体的に検討する。
- アーカイブ拠点施設と復興祈念公園のすみ分けを考えた場合、人々の想いに焦点を当てながら震災による被災や避難の状況を掘り下げるのが良い。
- 浜通りや福島県全体の被災状況を同様な施設と繋がりを持って表現していくことが必要。

◇直接津波で亡くなった人だけでなく、関連死といわれる死亡者もいる。妻も関連死の認定を受けたが、震災のストレスは皆さん相当あると思うので、津波と地震と原発事故は絶対伝えておかななくてはならない。

【地域風土の伝承（アーカイブ拠点施設との連携）】

- 長いスパンで震災前の営みや今後の防災方法等の情報発信が必要。
- 公園候補地周辺で失われた生活や文化等に係る意見の集約が必要。
- 人、動物、集落、犠牲者名、地名等を残すこともアーカイブ拠点施設と連携しながら考えていくべき。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(3) ふくしまの被災を将来につなげる

【被災状況や震災前の状況再現（ジオラマ設置）】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 浜通りの各地で起きた被災について、公園を訪れた方がそれぞれの思いで時間を掛けながら向かい合う場として、ジオラマのようなものがあれば良い。
- 被災前の風景等が海岸線の復旧により改変されることから、人の営みを含め被災前の状況などを広い公園内にジオラマのようなものを使って再現する。
- 集落等については、俯瞰的にジオラマのようなものを用いて残しておく。

- ◇ 今回の復興祈念公園にも、広島の平和記念公園（平和祈念資料館）にあるようなジオラマをつくり、津波ばかりではなくて、原発事故の様子などを教材として後世に残せると良い。
- ◇ 諏訪神社や両竹集落がここにあったということを形で残して頂きたい。
- ◇ 街並みを再現したジオラマのようなもので、自分の家があった証があると良い。
- ◇ 復興祈念公園内に、町を懐かしむことが出来るような町の模型などを設置し、公園内で模型などを見ながら、皆で思い出話が出来るようにして欲しい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(3) ふくしまの被災を将来につなげる

【公園周辺の震災遺構との連携や眺望景観の活用】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 諏訪神社から見える津波被災地区や請戸小学校、マリンハウスふたば等の震災遺構との連携、東京電力第一原発煙突の眺望景観の活用が考えられる。
- 公園区域外で震災遺構としての残置を検討している請戸小学校や海に見える景観など、復興祈念公園周辺を含めランドデザインとともに検討することが必要。
- 津波被災地区を見渡せる最低限の地形改変とすべき。
- 被災の甚大さを伝えるため、周辺にある震災遺構との連絡機能や、海や河川への眺望等を大切にしながら追悼・鎮魂できる場とする。
- 町民の方々からも震災前の暮らしへの愛着に関する話題が多いことから、海への眺望のために高台を活用する。
- 津波にのまれた“悲劇”の中で起きた請戸小学校児童の全員避難の“奇跡”を次世代に示すためにも、公園周辺と連携した整備により、双葉郡の復興を一つの記録として残せるような公園とする。

◇復興祈念公園は、山手の方を含めて配置し、海への眺望や景観などを考えた構造にしてほしい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(3) ふくしまの被災を将来につなげる

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

【公園周辺で起きた被災や避難状況についての伝承】

- 復興祈念公園周辺で起きた悲劇(津波被災発生、避難指示による被災者捜索困難)や奇跡(請戸小学校やマリンハウスふたばでの避難状況)の伝承に併せ、津波や原子力災害の教訓と復興の状況を伝承すべき。
- 生かされた命の大切さについて、奇跡の物語を伝承していくことが必要である。

◇子供たちが何十年か先に戻ってきた時に、ここで津波被災があって皆さんが亡くなったんだなという想いが残るような公園としてほしい。亡くなった方のために自分が生かされたことに対しての重みがある。

【来園者の安全・安心】

- 廃炉作業中での放射能に対する安全性に対する不安解消が必要。
- 公園候補地付近の放射線は、現在でも低い値であり、現在実施中の除染により基準値は下回ると思われる。
- 放射線対策を徹底し、教育的視察等に対応した公園とする。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(4) 終わりに

【公園周辺の復興まちづくりとの連携】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 公園周辺の土地利用を住民と共に考えていく。
- 公園の検討と併せ、公園周辺の県道や河川の復旧方法を検討する。
- 行政と住民との役割分担を整理する。
- アクセス性向上のためのインフラ整備が必要である。
- 周囲の復興計画等が明確に定まっていない中で、公園計画を先行的に進めることとなっているため、周囲の復興計画、土地利用計画と連動しないと公園計画が難しい。
- 岩手県、宮城県と福島県が違う点は、公園候補地周辺の復興がされていないこと。
- 公園と周辺施設との連携を重視して欲しい。

1. 有識者会議等における主な意見の整理

(4) 終わりに

【復興の進捗に併せた公園の整備充実】

- : 第1回有識者会議委員意見
- : 第2回有識者会議委員意見
- ◇: 住民意見

- 住民の想いに答えながらの公園計画検討が重要である。
- 公園整備と避難指示区域の復興の進捗を重ね合わせる。
- 福島では、今後、復興に関わる状況が変化していくことも考えられるため、公園計画等に関わる地元の声を長期的なスパンで柔軟に取り入れながら、公園を段階的に整備・充実して欲しい。

◇ 浪江町では運動が盛んだったので、運動施設や多目的広場、機能的には見晴らせるようなものがあれば非常に良い。